

これまでの火山防災対策の取組みについて

防災・危機管理課

1 富山県

- ① 弥陀ヶ原火山防災協議会の設置（予算額：1,000 千円）
- ・県では、万が一に備え、観光客や登山者の安全の確保に迅速に対応するため、平成 27 年 1 月に火山防災協議会を設置
- ② 弥陀ヶ原噴火履歴研究委託（予算額：1,000 千円）
- ・弥陀ヶ原火山について、富山大学（大学院理工学研究部 石崎准教授）に委託して、過去の噴火データの収集・分析を行い、火山防災対策に活用
 - ・地獄谷周辺の表層に堆積している火山弾や火山灰の分布調査
 - ・噴火堆積物の放射性炭素年代測定に基づく噴火年代の決定
- ③ 火山防災情報の伝達拠点整備（予算額：16,000 千円）
- ・観光客や登山者の安全対策として、弥陀ヶ原（地獄谷周辺）において、火山防災情報を提供するため、屋外 Wi-Fi 4 基を室堂ターミナル周辺に整備するもの
 - ・屋外 Wi-Fi から概ね 1 km 周辺の観光客、旅行者が集中するエリアをカバーし、10 月に整備済み（TOYAMA Free Wi-Fi サービス）
- ④ 学校登山用のヘルメット整備（予算額：5,140 千円） 県山岳遭難対策協議会
- ・立山登山をする学校に対して、ヘルメット 600 個を立山自然保護センターで貸与
 - ・小学校など 89 団体に延べ 5,451 個貸出（7/13～9/16）
- ⑤ 富山県警
- ・火山災害時の救助活動態勢強化（予算額：1,300 千円）
 - ・災害対策アドバイザーの委嘱（富山大学大学院理工学研究部 渡邊教授）

無線 LAN アクセスポイント

2 国

- ・通常の地震計よりも微弱な地震動（長周期の波形）を観測することができる地震計
 - ・火山体内の火山ガス等や熱水の増圧や流動による長周期震動を検知
- ① 火山観測施設の設置（気象庁：約 100,000 千円）
- ・総合観測点（地震計、傾斜計、空振計）、GNSS 観測点、広帯域地震計を整備
 - ・噴煙の規模を観測する遠望カメラを整備
- ② 弥陀ヶ原火山噴火による土砂災害検討（国土交通省：16,000 千円）
- ・既往資料、気象データ資料、火山活動記録の整理
 - ・社会環境・防災施設等を整理し、GIS データ化
 - ・航空レーザ計測データから、火山・土砂移動に関する微地形判読を実施

GPS衛星からの電波を捉えて、観測間の距離の伸び縮みを観測

3 富山大学（独自研究：1,100 千円）

- ① 立山地獄谷における火山活動モニタリングの実施
- ・ラジコンヘリによる地表温度及び地形の観測・解析
 - ・地獄谷火口の精密地形図の作成、噴気位置の特定、地表温度の解析等

4 立山町

- ① ヘルメット、ガスマスクの配備（予算額：1,700 千円）
- ・室堂周辺の山小屋 15 施設に対し、ヘルメット 240 個、ガスマスク 220 個を配備